

第3期 (2025-2029)

兵庫県地域創生戦略

概要版

戦略の基本理念

第2期兵庫県地域創生戦略(2020-2024)の基本理念

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ

第3期兵庫県地域創生戦略(2025-2029)の基本理念

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ
～地域や人をつなぐ「縁」を生みだし、共創の取組を五国に拡げる～

- 五国のポテンシャルを最大限発揮し、兵庫で働きたい、暮らしたいという希望が叶えられ、自分らしく活躍できる地域を目指していきます。
- そのために重要となるのが「縁」であり、人と人、地域と地域、世代と世代といった多様なつながりによって、新しい価値を生み出す共創の取組を五国に拡げていきます。

3つの柱

『自分らしく生きられる社会の創出』

(方向性1～3)

『五国に拡がる可能性の追求』

(方向性4～6)

『暮らしの持続性の確保』

(方向性7～8)

8つの
方向性

1 多様な学びや
働き方が叶う
社会を創る

2 居場所と
役割を創る

3 寛容性を
拡げる

4 ひとの動き
を生み出す

5 地域の
固有性を
磨く

6 経済活力を
創出する

7 人・自然・文化
を次代に
つなぐ

8 安心して暮ら
し続けられる
地域を創る

3つの柱・8つの方向性

背景・環境変化等

- ・経済的な成功や社会的な地位だけでなく、自己実現がより重視され、**自分らしい生き方を追求する人が増加**
- ・一人ひとりの能力・志向に合わせた**学びの選択**や、**働き方の柔軟性**がより重要
- ・地域コミュニティの絆の希薄化、単身世帯の増加、対面コミュニケーションの減少等による**社会的な孤独・孤立が深刻化**
- ・多様性に富み、魅力的な地域づくりのため、様々な価値観やバックグラウンドを持つ**人々を惹きつける寛容性**が必要

- ・地域の個性や強みを活かす取組は、**地域の差別化、一体感・帰属意識を高める**上で一層重要
- ・**移住者等の外部の視点**を取り入れながら地域に活力を生み出している事例の増加
- ・観光では地域ならではの食や文化に触れる機会や地元の人々との交流等、**独自性が求められる傾向**
- ・地域資源として**アートやスポーツ**の重要性が増加

- ・経済状況や価値観の変化、コロナ禍の影響等により**出生数の減少**や**人口の偏在化**が進行
- ・**小規模集落数が増加**し、都市部にも拡大
- ・人口減少に伴う**交通インフラや医療・教育環境等の縮小**が暮らしの質に影響（多自然地域への影響が甚大）
- ・人口減少は、**労働力不足の深刻化**や**地域コミュニティ機能の低下**を招く等、地域の活力維持に影響

3つの柱

自分らしく生きられる 社会の創出

幸せが実感できる地域であるためには、自分らしく生きられる環境づくりが求められます。
学び、働き方、暮らしに多様な選択肢が用意され、社会的なつながりの中で誰もが居場所と役割を持てる社会を目指します。

五国に拡がる可能性の追求

兵庫は多様な地域性を持ち、生活や伝統、歴史文化、自然景観、産業基盤など地域資源の宝庫です。
このポテンシャルを最大限に活かすことが必要であり、各地の個性・強みを磨くとともに、それらを繋ぎ、掛け合わせ、地域活力創出の相乗効果を生み出していきます。

暮らしの持続性の確保

少子化対策や若者の県内定着など、人口減少の抑制に力を注ぎます。
生活機能の維持をはじめ、防災・防犯対策、自然環境や文化の保全等、人口が減っても安全安心に、質の高い暮らしができる環境づくりを加速していきます。

8つの方向性と主な施策キーワード

1 多様な学びや働き方が叶う社会を創る

- ・次代を担う人材を育成する教育の推進 ・高等教育等の負担軽減
- ・教育環境の整備・充実 ・県内大学の機能強化 ・学び直しの機会の充実
- ・多様な働き方の推進 ・若者の起業促進

2 居場所と役割を創る

- ・「孤独・孤立」対策による地域支援体制の強化 ・ひきこもり対策の推進
- ・不登校支援の強化 ・課題を抱える若者等への支援強化
- ・高齢者・障害者の社会参加の促進 ・単身高齢世帯等への見守り強化

3 寛容性を広げる

- ・外国人の活躍支援、暮らしへの支援体制の強化 ・女性の活躍推進
- ・偏見や差別の解消への取組強化 ・特別支援教育の推進
- ・芸術文化・スポーツの振興

4 ひとの動きを生み出す

- ・移住促進の強化 ・県内就職・定住の意識高揚 ・多主体連携の推進
- ・空き家活用による地域活性化 ・国内観光・インバウンドの活性化
- ・関係人口の拡大 ・交流を支える交通基盤の充実

5 地域の固有性を磨く

- ・地場産業の新たな展開への支援 ・ひょうごフィールドバリエーションの推進
- ・県の強みを活かした産業基盤の強化 ・芸術文化に親しむ機会の充実
- ・スポーツを通じた地域づくりの推進

6 経済活力を創出する

- ・成長産業の育成 ・起業・創業の支援 ・県内企業とのマッチング強化
- ・ものづくり産業の経営基盤の促進 ・人手不足対策の強化
- ・食と農業の活性化 ・担い手確保・育成 ・持続可能な農村地域づくり

7 人・自然・文化を次代につなぐ

- ・出会い・結婚支援の充実 ・育児支援体制の強化 ・保育環境の充実
- ・子育て家庭を見守る地域づくり ・脱炭素化の推進 ・生物多様性の保全
- ・豊かな環境の保全と創造

8 安心して暮らし続けられる地域を創る

- ・多自然地域における持続可能な生活圏の構築 ・地域医療体制の確保
- ・高齢者が安心して暮らせる地域づくりの推進 ・健康づくりの推進
- ・地域の安全・安心を守る体制の強化 ・防災・減災対策、防災力の強化

『戦略推進プロジェクト』

- 基本理念のもと、地域創生の実現に向けて重点的に取り組むべき課題への対応を「戦略推進プロジェクト」として設定
- 分野横断的に関連する取組をパッケージ化し、県・市町・関係団体などと連携、協力しながら推進
- プロジェクトの進捗状況などは毎年度フォローアップを行い、必要に応じてブラッシュアップを図る

1 若者・Z世代応援 プロジェクト

－望む学びや働き方が叶う環境づくり－

次世代を担う若者が、望む学びや働き方、暮らし方ができ、存分に力を発揮できる社会の実現に向けた取組を推進します。

- ・教育の経済的負担軽減や環境整備の促進、奨学金返済支援の充実
- ・県内の魅力ある仕事と若者のマッチングや多様な働き方の促進
- ・子育て世帯向けの住環境整備の促進 など

2 ひとりじゃない プロジェクト

－社会的な孤独・孤立を防ぐ取組の強化－

深刻化する社会的な孤独・孤立を防ぐため、多様な主体と連携してつながりを広げる取組を推進します。

- ・ヤングケアラー、課題を抱える妊産婦等への支援の強化
- ・小中高における不登校児童・生徒への支援強化
- ・社会で生きづらさを感じている人の孤立防止・居場所づくり など

3 外国人「第二のふるさと」プロジェクト

－外国人が安心して暮らし、働ける地域づくり－

地域に暮らす外国人が兵庫を「第二のふるさと」として、安心して暮らし、働ける環境の整備に向けた取組を推進します。

- ・外国人が安心して地域で暮らせる多文化共生の基盤づくり
- ・県内企業の外国人労働者の受入促進、就労・定着できる環境の整備
- ・外国人の子どもへの教育支援の充実や国際交流の推進 など

4 五国の“ナリワイ” 育み プロジェクト

－地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組－

地場産業や成長産業など兵庫に集積する多様な産業の競争力を強化し、地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組を推進します。

- ・国内外でブランド力を向上させる地場産業の新展開
- ・次世代成長産業拠点の形成や、AI・ロボティクス等の技術革新の促進
- ・地域の多様な魅力を発信する観光の促進 など

5 ひょうご五国豊穡 プロジェクト

－「農」を核とした農山漁村の活性化－

農林水産業の生産向上や高付加価値化に取り組むとともに、「農」を核とした活気ある農山漁村づくりを推進します。

- ・地域資源を活かした持続可能で特色ある農山漁村づくり
- ・民間事業者と連携した県特産品のブランド強化、国内外の販路拡大
- ・兵庫の「食」に関わる生産者との交流促進を通じた活性化 など

6 五国のご縁(五縁) プロジェクト

－地域や人をつなぎ、新たな価値を創出－

地域で活躍するロールモデルの発掘し、交流を通じた地域や人をつなぐ縁を生み出すなど、地域創生の活動を広げる取組を推進します。

- ・多様な主体の交流の場となるプラットフォームの構築
- ・万博後も見据えた「ひょうごフィールドパビリオン」の展開
- ・スポーツを通じた活性化への組織体制整備や連携事業の充実 など

指標・目標 人口の将来展望・推進体制

■指標・目標

- ・個別の取組を直接的に評価する統計データ等による**客観指標**に加え、統計データ等では測定が困難な「幸せの実感」や「心の豊かさ」等の**主観指標**を8つの方向性に応じて設定

○主な指標(全体ではこれらも含め約200指標を設定)

方向性	指 標	現状	目標値(R11)	方向性	指 標	現状	目標値(R11)
1 多様な学びや働き方が叶う社会を創る	自校の魅力・特色を実感している生徒の割合(高校)	－ (R6目標値 80%)	85%	5 地域の固有性を磨く	地場産業の生産額(主要産地)	1,900億円	1,900億円規模の維持
	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小 81.9[82.4%](R6) 中 64.2[66.3%](R6)	全国平均以上 ※[]が全国平均		住んでいる地域に自慢したい宝があると思う人の割合	40.9%(R6)	前年度を上回る
	県内大学卒業生の県内企業就職率	28.2%(R5)	33.0%	6 経済活力を創出する	県内一人あたり県内総生産(GDP)の伸び	実質 国107.7 県113.1 名目 国119.2 県121.9	国を上回る一人当たりGDP伸びを維持
2 居場所と役割を創る	孤立しがちな人を生まないように気かけあう社会であると感じる人の割合	10.4%(R6)	前年度を上回る		スタートアップ創出数	25件(R5)	30件
	不登校児童生徒が学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた割合	48.7%[61.6%] (R4)	全国平均以上 ※[]が全国平均		住んでいる地域に優れた製品・技術・ブランドを持った企業があることを知っている人の割合	25.7%(R6)	前年度を上回る
	住民主体の通いの場への高齢者参加率	9.1%(R3)	11.6%	7 人・自然・文化を次代につなぐ	農林水産業産出額	2,652億円(R4)	2,749億円
3 寛容性を広げる	県内外国人労働者数	57,375人(R5)	80,000人		合計特殊出生率	1.29(R5)	1.27
	住んでいる地域には年齢・性別・障害の有無等に関わりなく暮らしやすい環境が整っていると思う人の割合	36.0%(R6)	前年度を上回る		安心して楽しく子育てできると思う人の割合	54.4%(R6)	前年度を上回る
4 ひとの動きを生み出す	県内の転入超過数(外国人含む)	1,291人(R5)	5,400人	8 安心して暮らし続けられる地域を創る	再生可能エネルギーによる発電量	73億kWh(R5)	95億kWh
	移住施策による県外からの転入者数(累計)[県・市町含む]	6,174人(R5)	12,000人		生活の不便さを補う様々なサービスが増えていると思う人の割合	36.7%(R6)	前年度を上回る
	県内観光消費額	15,677億円(R5)	14,500億円規模の維持		健康寿命(男性、女性)	男性 80.41(R2) 女性 84.93(R2)	男性 81.53 女性 85.05
	外国人延べ宿泊者数	102万人(R5)	300万人		治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合	68.0%(R6)	前年度を上回る
					災害に備えて飲料水等の備蓄をしている人の割合	74.5%(R5)	前年度を上回る

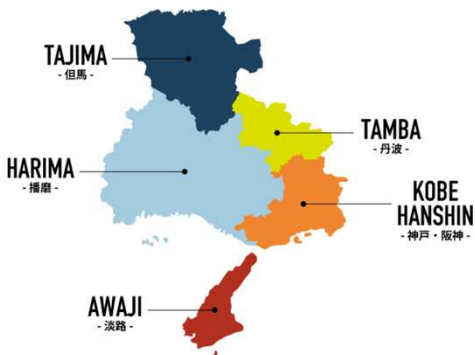
■人口の将来展望

- ・国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の将来推計を基本に、本戦略に基づく取組の効果を踏まえ、**2070年の本県人口目標を380万人に設定**※
※今後の人口動向等を注視し、必要に応じて見直し

■戦略の推進体制

- ・戦略の実効的な推進を検討・実践していくため、**地域創生アクション委員会**を設置し、戦略推進プロジェクトの進行管理や改善、効果的な広報・PRなどを実施

各地域における取組方針



- 兵庫五国の多様な地域性や特性を踏まえ、県民局・県民センターごとに「各地域における取組方針」を設定し、きめ細やかな地域創生の実現を目指していきます

神戸

山と海に囲まれたみなとまち神戸
人が集い、ともに繋がり、みんなで希望を叶えるまち

- ・アートや歴史遺産を活かした交流の拡大
- ・都市と「農」が近接する強みを活かした農の神戸ブランド創出
- ・市街地の治水対策や六甲山の土砂災害対策の推進

阪神南

コ・クリエーション(共創)が育む、未来に繋がる魅力ある阪神南

- ・「阪神間モダニズム」を切り口とした地域周遊・交流の促進
- ・強みであるものづくり技術の高度化促進
- ・「尼崎21世紀の森構想」の実現、自然災害への対応強化

阪神北

コ・クリエーション(共創)による、阪神北の更なる活力と豊かな暮らしの創出

- ・宝塚大劇場や清酒発祥の地・伊丹などの地域資源の魅力発信
- ・「阪神アグリパーク構想」による賑わいづくりの推進
- ・「日本一の里山」等の自然・歴史・文化の継承

東播磨

水辺・ものづくりを中心に、元気で地域愛あふれるまち・東播磨

- ・世代や地域を超えたつながりを支え、生活の質を向上する取組を推進
- ・都市近郊を活かした農畜水産物のPR強化
- ・ため池や河川等の豊かな水辺環境を守りつつ、魅力発信による交流人口の増加

北播磨

田園の恵みが生み出す こちよ未来の暮らし ～ひょうごのハートランド北播磨～

- ・ゴルフ等のスポーツ基盤などの地域特性を活かした交流促進
- ・山田錦、ぶどう、もち麦等多彩な特産品のブランド強化
- ・特産品活用によるインバウンド等の誘客促進

中播磨

多様な地域に、個性(ひと)が輝く
中播磨

- ・姫路城や銀の馬車道・鉱石道の魅力発信や、姫路港国際物流ターミナル整備等による賑わいの創出
- ・高齢者等の地域活動団体への支援推進
- ・森林・農地の多面的機能の維持・保全

西播磨

光と水と緑でつなぐ 元気西播磨

- ・山城や「水」「緑」にまつわる観光資源を活用した交流の拡大
- ・地域課題に取り組む高校生等の支援
- ・播磨科学公園都市の賑わい創出や、地域と連携した魅力の促進

但馬

住んでみたい 暮らし続けたい 但馬

- ・氷ノ山や竹田城跡、豊岡鞆等多彩な地域資源の魅力発信
- ・芸術文化観光専門職大学と連携した地域活力を生み出す取組の展開
- ・コウノトリ育む米など人と自然にやさしい生活環境の構築

丹波

「丹波の森構想」－人と自然と文化の調和した地域づくり－の継承と進化

- ・里山の保全・再生を推進し、丹波らしい景観を未来に継承
- ・シリ丹バレー構想推進により産学官民のネットワーク形成を推進
- ・スマート農業の普及拡大や、特産品のブランド化の推進

淡路

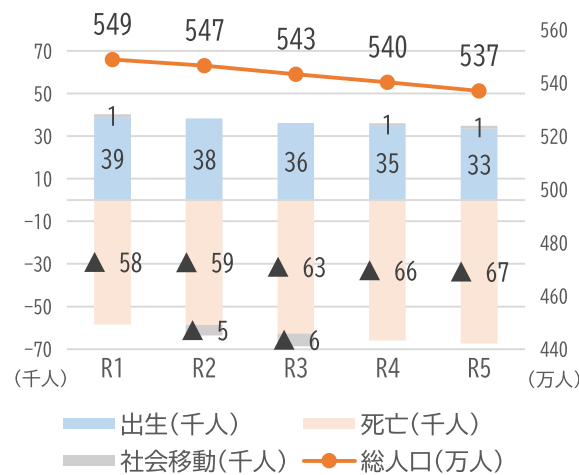
人と自然の良質な関係が「環」となって広がり、誰もが安心して暮らし続けられる環境豊かな島・淡路

- ・「世界一の食の島」を目指した食のブランド強化や島の資源を活かした観光振興
- ・都市部近接を活かした淡路瓦等の地場産業の魅力向上
- ・南海トラフ等の自然災害への対策強化やため池改修等の推進

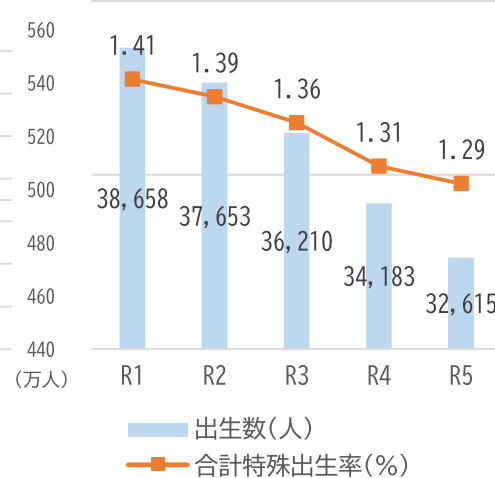
兵庫県の人口動態の現状・第2期戦略の評価

- ・新型コロナ感染拡大の影響により婚姻数や出生数の減少が加速化している
- ・東京一極集中の再加速により20代の若者を中心に県外に流出し、日本人の転出超過が続いている
- ・一方で、国際移動による外国人の動きも含めたトータルでは社会増となっている
- ・日本人の動きについても、ファミリー層の転入超過が続き、良好な住環境などが兵庫の強みとなっている
- ・コロナ禍からの経済回復や円安を背景とする輸出産業の業績拡大、インバウンド需要により、県内の経済は良好に推移している

●総人口及び出生・死亡数・社会移動数の推移



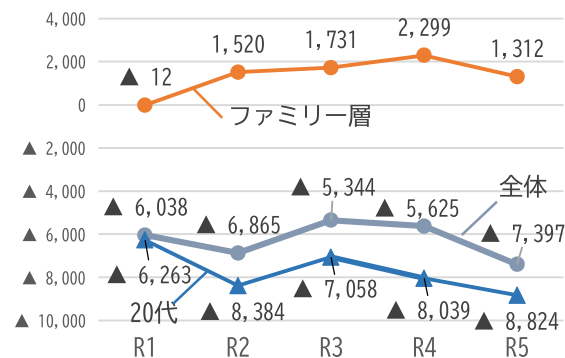
●出生数・合計特殊出生率の推移



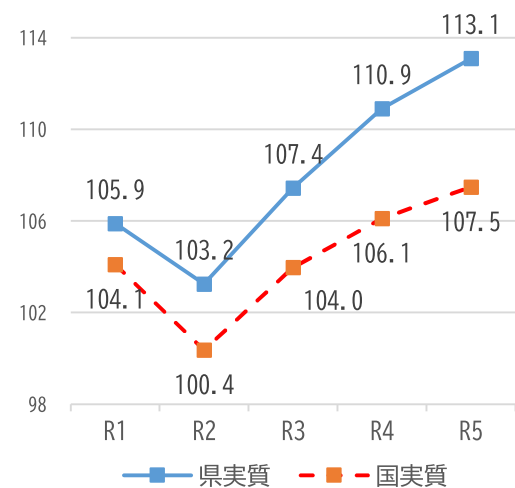
●社会移動(国際移動・外国人含む)の推移(人)

R1	R2	R3	R4	R5
1,388	▲4,855	▲6,046	1,312	1,291

●転入超過の推移(人)※ファミリー層(0～14歳、30～49歳)



●一人あたりGDP(実質)伸び率の推移(H25=100)



【第2期戦略で掲げた戦略指標の状況】

※達成状況：「A」100%以上、「B」90～100%未満、「C」70～90%未満、「D」70%未満

戦略目標	戦略指標	R1(戦略開始時)	R5目標	R5実績
地域の 元気づくり	①県民一人あたり県内GDPの伸び	実質 国104.1<県105.9 名目 国109.4<県110.3	国を上回る伸びの維持	実質 国107.5<県113.1 名目 国119.2<県121.9 A
	②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合	77.9%	前年度(77.8%)を上回る	79.0% A
社会増対策	③日本人の転入超過数(R6年に日本人社会減ゼロ)	▲7,260人	▲214人	▲7,004人 D
	④若者定着率(R6年に93.0%)	92.0%	92.8%	91.3% B
	⑤外国人の増加数累計(R6年に25,000人)	1,222/年	20,000人	27,600人 A
自然増対策 (子ども子育て)	⑥合計特殊出生率(R1=1.41を維持)	1.41	1.41	1.29 B
	⑦婚姻件数(27,000件)	25,109件	26,500件	19,629件 C
自然増対策 (健康長寿)	⑧平均寿命と健康寿命の差(男性1.40歳未満、女性3.13歳未満)	男性 1.48未満 女性 3.20未満	—	※参考R3 男性 1.39 女性 3.06 —
	⑨運動を継続している者(75%)	62.7%	65.8%	61.0% B